

能登半島地震を踏まえた災害対応の検討（案）

設置の趣旨

令和6年1月1日に発生した能登半島地震では、その社会的条件や地理的条件から被災地の現状把握、災害対応の初動、自治体支援活動等において、様々な課題が見られた。

このため、関東地方において、同様な厳しい条件下での地震災害が発生した場合に、関東地方整備局として円滑な災害対応を行うための方策を検討することを目的に、「能登半島地震を踏まえた災害対応検討ワーキンググループ」を設置する。

検討内容

モデルケースとして房総半島を設定し、以下の項目について検討する。

- 令和6年能登半島地震における被災の特徴や対応の教訓・課題の整理。
 - 房総半島の地理的特徴、施設分布や防災体制、地震による被害等の整理。
 - 関東地方整備局の災害対応への反映等。
- 等

進め方

令和6年3月にワーキンググループを設置し、防災関係機関と連携を図りながら検討を進め（※）、災害対応についてとりまとめを行い、適宜反映していく。

※検討に当たっては、北陸地方整備局の災害対応報告を参考にする。

令和6年度の検討に向けて関係機関との調整を行う。